

大豊地区農漁村女性グループ研究会が郷土料理伝承講習会を開催しました



真剣に調理に取り組む様子

11 月 19 日、大豊地区農漁村女性グループ研究会は、大豊町立大豊町中学校で郷土料理伝承講習会を開催し、中学 2 年生 17 人と一緒に銀不老寿司、こんちん、半夏だんごを調理しました。

講習会に参加した生徒からは、「半夏だんごを初めて作った。家族に作ってあげたい」、「大豊町の郷土料理を周りの人に教えてあげたい」、「銀不老豆が莢に入っているのを初めて見た」といった声が聴かれ、大豊町の郷土料理や地域の食材への理解が深まりました。

開催にあたり普及所は、講習会の内容、資料の作成等を支援しました。今後も大豊地区農漁村女性グループ研究会の活動を通じて郷土料理の研究や伝承活動を支援していきます。

高品質な花き生産に向けて！ ～ConfidenceFlower 反省会～



生産者が真剣に協議

11 月 20 日、JA 高知県れいほく ConfidenceFlower は、JA 高知県本山支所で反省会を開催し、生産者 3 人が参加しました。

JA 高知県からは、今年の出荷実績や緑肥の試作状況について報告がありました。

普及所からは、土壌分析結果に基づく土づくりの重要性、高温時期のオリエンタル系ユリ品種調査結果について説明しました。

生産者からは、「高品質な花き生産をするためにも土づくりを実施していきたい」など意欲的な意見が聞けました。

今後も普及所は、定期的な土壌分析を行い、緑肥などの有機物施用や湛水など、総合的な土づくりを推進していきます。

鳥獣害対策について研修



足下のテキサスゲート
グレーチングに興味津々な
職員

11 月 26 日、普及所で嶺北地域の鳥獣害被害や対策を知るために研修会を開催し、普及所、JA の職員 12 名が参加しました。

JA 高知県れいほく営農経済センターの鳥獣被害対策専門員 2 名を講師に招き、鳥獣被害の状況や支援策について学習した後、本山町古田地区の防護柵と県内で唯一設置されているテキサスゲートグレーチングを視察しました。職員からは「鳥獣被害の実態を身近に感じられた」、「集落維持の参考になった」等の意見が出され、地域を守るために鳥獣害対策を実施する必要性を理解しました。

普及所は今回の研修を生かして、鳥獣害対策の支援を強化していきます。

知っていることも学び直すと新たな発見につながります

～嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会主催「農業担い手研修会」～



質疑応答も順調です

11月27日、土佐町で、嶺北地域の農業関係機関で組織する「嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会」主催の担い手研修会「再発見！農業の基礎知識～植物の栄養・土づくり・土壌病害対策～」が開催され、農家、関係機関22人が参加しました。

研修会では、高知大学IoP推進室の講師から、土作りの大切さ、土壌病害対策の意義や実践方法等を勉強しました。参加者からは「今後の栽培に役立つ」「土づくりに真剣に取り組みたい」など意見が聞かれ好評でした。

普及所は研修会の企画、運営を支援しました。新型コロナウイルス感染対策としてWeb講義となりましたが、講師と参加者とのコミュニケーションも取れ、新たな研修様式の可能性を感じました。今後とも地域の担い手の育成に取り組めます。

地下部の様子を観察 ～土佐甘とう現地検討会～



土を掘って根を観察

11月30日、JA高知県れいほく園芸部開発部会は甘長トウガラシのは場2カ所で現地検討会を開催し、生産者7人が参加しました。

は場では株を引き抜いて土壌の断面と根の様子を観察し、定植前の灌水の違いが根張りに及ぼす影響について説明しました。

生産者からは、「栽培終了時の根を実際に見たことで、水管理の重要性を再認識した」との声が聞かれました。

今後も普及所は、栽培管理の向上を目指し、巡回指導や講習会を通じて支援していきます。

より安全な農業を目指して！ ～米ナス反省会～



労働安全についての講習
を聞く生産者

12月2日、JA高知県れいほく園芸部米ナス部会は、JA高知県本山支所で米ナス部会反省会を開催し、部会員7人が参加しました。

JA高知県からは今年度の活動及び出荷実績について報告があり、その後生産者全員が栽培終了時のGAP点検シートの記入を行いました。

普及所からは、栽培終了時の病害対策と労働安全について説明しました。

生産者からは、「農薬散布は重労働で、その回数を減らすためにどうすればいいか？」など活発な質問が出されました。

今後も普及所は、生産者がより安全に農業ができるよう、JAと連携してGAPを推進します。

「道の駅 土佐さめうら」の集客力・販売額アップをめざして
～第3回直販所事業戦略策定セミナーを開催～



現場でのレイアウト検討の
様子

12月8日、道の駅「土佐さめうら」で第3回直販所事業戦略策定セミナーを開催し、店舗スタッフ、土佐町、県等12名が参加しました。

セミナーでは、6次産業化サポートセンターのアドバイザーから、集客力・販売額アップに向けた店舗のレイアウト改善等について指導を受け、地域素材の土佐あかうし、日本酒といった商品のゾーニングや顧客の導線について活発な議論が展開されました。普及所はセミナーの開催調整、課題の洗い出し、関係機関との情報共有を行ってきました。

今後も、レイアウト改善等について効果を検証するなど、販売力向上に向けた支援を継続していきます。

ブランド米「土佐天空の郷」の更なる飛躍を誓って～総会を開催～



総会の様子

12月9日、生産者、本山町農業公社、本山町、普及所32人が参加し、本山町役場で本山町特産品ブランド化推進協議会総会が開催されました。

本山町農業公社からは、本年度の出荷実績、食味コンテストで入賞したことが報告され、収量・品質を向上させる栽培管理について情報共有しました。普及所からは、気象条件から推察された減収要因と対応策、発生が多かった穂いもち病、トビイロウンカの効果的な防除方法について指導しました。

生産者からは「本年は新型コロナウイルスで大変な一年であったが、食味コンテストでは金賞を獲得する事が出来た。皆で切磋琢磨して土佐天空の郷を盛り上げて行こう」という声が聞かれました。

普及所はこれからも本山町と連携して、増収・高品質化に向けて栽培技術を確立していきます。